



組織現況 2010年5月31日現在

組合員数
26,438 人

出資金総額
80,313 万円

一人当たりの出資額
30,378 円



とやま医療生協 虹のまち

2010年7月号 No.327

〒931-8501 富山市豊田町1-1-8
☎076-441-8351 FAX 076-432-8031
ホームページアドレス
http://www.toyama-hcoop.com/
E-mail webmaster@toyama-hcoop.com
毎月1回発行
定価 1部30円(組合員の購読料は出資金に含まれています)
発行 富山医療生活協同組合



▲パワーポイントを使って説明する火爪医師と参加者のみなさん

「医療生協でよかった」を感じてもらえる支部活動の一つとして、豊田北支部は毎年「健康お役立ち講座」を開いてきました。今回は、『健診受診大運動』を受けて、組合員の中から手遅れのがんを出さない活動を進めようとして、富山協立病院の火爪医師(消化器・肛門・乳腺科)による「大腸がん・乳がんの話」を、十八名が参加して学び合いました。

「大腸・乳がんの話」を学び合いました。

豊田北支部は、六月二十五日(金)午後二時からコープとやま北部センター二階で「健康お役立ち講座」を開催。健診受診大運動に呼応して、火爪医師の

医療生協「健診受診大運動」の中で 大腸がん・乳がん検診を学んで受診へ

参加者から、「いっぺん大腸がん健診を受けたい」と思ったが、今年には是非受けるちゃ、二年に一度の乳がん検診、せっかくなので受診します。乳がんは去年受けたけど今年も受けます。や、大腸がん券を処分してしまつた男性から「再発行してもらいます」などの感想が寄せられました。

わかった！検診を受ける大切さ

ポリープや早期がんの処置の場面を映像で紹介。次に、乳がんの種類やマンモグラフィを使った検査の効用と実績を分かりやすく説明し、「大腸がんも乳がんも両方とも発生率が増えて来ています。早期発見には年に一度検診を受けることが大事です」と話されました。



▲1・2号議案に賛成の採決をした総代・代理人のみなさん

尾花常務理事の開会宣言が始まり、理事会より大野孝明理事長が「富山も全国でも今年度の活動方針のキーワードは、『絆』を結ぶです。国連は、二〇一二年を国際協同組合年とする事を決定し、協同の輪を広げて孤立と貧困を克服しようとしています。医療生協は、『地域まるごと健康づくり』を提唱してきた老舗中の老舗として、『いのちの大運動』をさらに大きく前進させましょう」と挨拶しました。

道ではないでしょうか。(M)

第五十七回通常総代会が六月二十日(日)富山県中小企業研修センターにおいて開催されました。総代一七〇名と来賓・オブザーバー・役員を合わせて二七六名が参加して、全議案を採決しました。

11月から富山協立病院
小児科再開と外来リニューアル



▲職員と一緒にゴキブリだんごづくり

萩浦支部では、組合員の健康づくりを進めるため、七月にも火爪医師を講師に「大腸がん・乳がん」についての班会を開く予定です。

また、女性の放射線技師から、今年医療生協がキャンペーンを行っている乳がん検診のお話があり、合わせて大腸がん検診のおすすめもありました。

この時期に行うのが恒例で、今年も十四名が参加しました。参加した放射線科と栄養科の職員も一緒に協力して、楽しく作りました。

また、女性の放射線技師から、今年医療生協がキャンペーンを行っている乳がん検診のお話があり、合わせて大腸がん検診のおすすめもありました。

今年も「原水爆禁止国民平和大行進」が六月一日、朝日町から広島に向つてはじまりました。特に今年、五年に一度開かれる「NPT(核不拡散条約再検討)会議が開催され、核兵器のない世界のための国際行動デー・ニューヨーク行動」には、日本から六九〇万の署名と一五〇〇人を超える代表(富山から一〇名)が参加しました。医療生協から参加した長谷川博さん(奥田北支部)は、ニューヨークでの署名行動に参加して「無関心の人もいたが思ったより好意的で非常に良かった」と述べています。NPT会議は「すべての国が核兵器のない世界を達成し維持するために必要な取り組みを行う必要性について確認する」との最終文書を探りました。これにしても被爆国日本からは、総理も外務大臣もこの会議に参加しないで、政局にうつつをぬかし「普天間基地」から「アメリカ軍は抑止力として必要だ」と、核兵器を容認するような発言は絶対に認めるとはできません。昨年九月「国連安全保障理事会の首脳級会合で被爆国の責任者として「核軍備競争の鎖を断ち、非核三原則を堅持する」と発言した鳩山首相の国際的な約束を守る事こそ、世界と日本国民に信頼される道ではないでしょうか。(M)

7月「日本医療福祉生活協同組合連合会」加入を決定



▲提案を行う石川丈夫専務理事

来賓を代表して、県生協連松浦均会長理事より挨拶を頂いて議事に入りました。最初に、石川丈夫専務理事が「二号議案を提案し、活動ののちの分野に活かそう」と出合い・ふれあい・支えあいを合言葉に対話運

年度予算案が提案された後、全体討論が行われました。討論後に、一号・二号議案が満場一致で採決されました。続いて、第三号から第六号議案の提案と採決がおこなわれ、全議案が採決されました。最後に、「班・組合員表彰」「永年勤続職員表彰」「新入職員紹介」が行われて、総代会は終了しました。

▲全体討論(抜粋紹介)
九名が発言
○火爪健一 医師 協立病院
大腸・乳がんの学習資料を配布し、がん健診の技術や治療内容を紹介しながら、年に一度がん健診を受けましょうと訴えました。



▲長谷川博総代(奥田北支部)

村医師と一緒にニューヨークへ行き、核兵器廃絶を訴えてNPT会議に参加してきました。現地での署名行動や様々なイベントに参加でき、会議の成功に貢献できました。今後も、核兵器廃絶など平和の運動に参加していきます。

が大きな力になりました。○荻生恵子総代(くし支部)
やくしの里のデイサービスは、週二回。利用者が八十九人へと広がり、私たちボランティア組合員の奮闘もあり、利用者の方がイキイキと過ごされています。八月から週五回になり、期待と不安もあるが、胸をはって医療生協の良さを訴えていきます。脳いきいき班会は、六名でスタートしました。毎日の記録はちよつと大変だが、楽しい班会にします。

「大腸・乳がん健診の倍化運動と協立病院小児科再開に取組み、若い世代に医療生協をアピールしていく。脳いきいき班会を中心に、認知症にやさしいまちづくり運動の展開、頼りになる医療生協をつくる組織活動を進める。『日本医療福祉生活協連』に加盟すること」などが提案されました。続けて、決算と監査報告、十

物資販売

Table with 3 columns: Item name, Quantity, Price. Includes items like 小豆島手延べそうめん, 黒とろろ, 白とろろ, etc.

※ご購入用のそうめんは包装いたします。
◆取り組み期間は8月末まで。ご注文は医療生協組織部(☎076-441-8351)へ

第5号議案 特別決議(抜粋して紹介します)

いのちと暮らしを守る事業と運動を豊に発展させ、富山医療生協創立50周年に向け大きな飛躍をとげましょう。

～「協同の力」で、病院小児科再開の成功を。2012年を出資金9億円生協で迎えましょう～

2012年に富山医療生協は創立50周年を迎えます。48年前の厳しい経済状況と困難な医療情勢の中で「医療を自分たちの手に」と、328名の組合員で設立した富山医療生協は、～中略～この間幾多の困難はありながらも、組合員と多くの方々の支援のもとで、26000人の組合員と病院・診療所・介護事業所を有し、県民から頼りにされる組織へと大きく前進してきました。～中略～

今年、待望の小児科が病院に再開され、通院がん化学治療も拡充されるなど、これまで以上に「小児から高齢者まで」「予防から終末期まで」と幅広い保健・予防と医療・介護事業が推進されます。～中略～ 地域における組合員の健康づくりやまちづくり、組織づくりの運動と一体となって大きく成功させましょう。

全ての支部と事業所で、3つのチャレンジ(健康・安心・頼りになる組織づくり)に挑戦し目標を達成しましょう。

- ① 四月の事業概況について確認しました。
② 第五十七回通常総代会へむけて議案の最終確認を行いました。また、当日の任務や運営について確認しました。
③ 日本医療福祉生活協同組合連合会(医療福祉生活協連)の理事候補として大野理事長が推挙されること

宮崎県口蹄疫被害義援金にご協力をお願いします

第57回総代会の会場募金で、24,274円が寄せられました。医療生協では、引き続き病院・診療所の窓口にも募金箱を設置して、義援金に取り組んでいます。お寄せ頂いた義援金は、日本生協連を通じて、宮崎県へ届けます。宜しくお願いします。

- ④ 第四十五回富山県生協連合会の代議員選出を専務理事へ一任しました。
⑤ 富山診療所六十周年イベントについて意見交換を行いました。

09年度 第十三回理事会報告

五月二十九日(土)、定数二十九名中二十名の出席で、第十三回理事会を開催しました。

とが了解されました。
④ 第四十五回富山県生協連合会の代議員選出を専務理事へ一任しました。
⑤ 富山診療所六十周年イベントについて意見交換を行いました。



(左)個人表彰代表 尾島富雄さん 水橋支部 (右)班表彰代表 中村勝美さん 中村勝美さん

Table listing award recipients by category (Individual and Class) and their respective branches.

第五十七回通常総代会 班・組合員表彰

◎班表彰(年間六回以上出席率80%)

◎個人表彰(年間五名以上出席率80%)

第57回通常総代会第1号(イ)

通常総代会決定

2010年6月20日(日)
富山県中小企業研修センター

2009年度活動のまとめ

世界的な経済危機が深まる中で「貧困と格差」は更に広がり、後期高齢者医療制度などへの国民的怒りは、遂に政権交代を実現しました。しかし、新政権は、大企業本位や軍事優先政策に切り込めず、国民生活の不安解消や経済危機打開の展望も示せないまま迷走を続けています。後期高齢者医療制度の廃止は4年後へ先送りし、さらに新制度案では年齢差別を65歳以上にまで拡大しようとしています。

私達は、「医療生協をいのちの分野に活かそう」と、「出会い、ふれあい、支えあい」を合言葉に対話運動を進め、「協同の力」で問題の解決をめざしました。認知症サポーター養成講座などは自治体や各方面からも高い評価と期待が寄せられています。また事業面では、組合員の利用促進や地域連携や経営改善などにより、昨年実績と予算を上回る経常剰余となりました。

2009年度 富山医療生協のあゆみ

Table with 2 columns: 月 (Month) and 内容 (Content). Lists activities from April to March, including health check-ups, seminars, and community events.

(1) 自治・参加・協同の力を活かし 事業の質を向上させる

- ①「患者の権利章典」「医療生協の介護」の実践
i) 「これが富山医療生協だ、コンテスト」を105名の参加で開催し、医療生協の魅力を共有しました。
ii) 水橋診療所事業所利用委員会は規定を整備して活動を再開しました。また、きずなでは、開所10周年記念企画を地域の諸団体や地元組合員とともに成功させました。
iii) ライフデザインノートは250冊販売して活用している人からは好評を得ていますが、支部や事業所での活用は来期の課題となっています。
iv) 模擬患者会は、事業所の職員接客改善に活用しましたが、2部署3回の開催に留まりました。(08年度14部署)
v) ISOの更新審査で認証維持となりました。組合員の内部監査員の養成はできませんでした。
vi) 11月の小児科再開に向け、医療内容や子育て支援など多職種での検討を始めています。
vii) 高齢者にやさしいまちづくり運動では、「WHOチェックリスト」を富山と水診で取り組みました。全国的な集計分析を行い富山でも活用します。また、引き続き認知症サポーター養成講座に取り組みました。



▲ウォークイベント(北&南ブロック)

- ②職員確保と育成に向けて、再就職支援セミナーや職員・組合員の紹介を通じて、職員の採用を進めました。(セミナー:1名、紹介活動:パートを含めて13名)また、2010年度には2名の看護学校の奨学生が誕生しています。
③無料低額診療制度は未着手となり、来期の課題です。

(2) 医療生協の特徴を活かし 継続・発展可能な事業と運動をつくる

- ①医療・介護の総合的なサービスと地域連携
・病院では、消化器・肛門・乳腺科、漢方など診療科を充実させ、病棟や透析でも効率的な運用に努め、昨年実績を上回る患者利用となりました。また、慢性疾患の方に対する検査などをきちんと行なうなど、病院単独で経常剰余(黒字)を確保しました。
・診療所では、診療内容の専門性と地域のネットワーク(富山:胃カメラ・在宅、水診:在宅・介護)を活用しました。
・介護事業では、訪問介護の統合やショート・フルタイムなどサービスの強化に努めて収支の改善をはかりました。
・健診では、班会や対話運動を通じて組合員の健診受診率はやや前進しましたが、健保家族の受診など特定健診導入前の状態には回復していません。



▲バレンタイン健康相談会(北の森ショッピングセンター)

- ②地域の期待に応え「やくしの里」の介護事業を開始しました。
③病院単独のホームページを開設し、「虹のまち」は2010年1月から奇数月は8頁立にしました。

(3) 明るいまちづくりを進め、健康で平和な社会をつくる

- ①地域まるごと健康づくり
i) 健康チェックは、健康まつりなど大型イベントの中止の中でも、班会でのチェックを重視し12,305件となりました。また、地域の健康まつりでは、主催者を援助する形で医療生協として尿チェックを担ったところもありました。また、出足早い取り組みと対話運動で呼びかけましたが支部での健診受診目標を持つには至りませんでした。
ii) 健康チャレンジャーは、登録60名、修了30名に留まりました。
iii) 文化スポーツ行事が多彩に取り組みされました。(別表「あゆみ」参照)
iv) 認知症サポーター養成講座(組合員193名、職員196名)、AED学習会(職員51名、組合員5名が修了)に取り組みました。くらしの学校(16支部47名)を開催しました。
v) 地域協同シンポを120名の参加で成功させ、県生協連と行政との共同を前進させました。引き続き、地域の健康まつり(保健センター)にも積極的に参加しています。
vi) 「たすけっとクラブ」は、理事を専任配置して事務局体制を強化し、利用2,117時間・登録者107名と伸びました。
②社会保障の充実を求める運動
i) 事業所や班会、地域訪問で後期高齢者医療制度の廃止署名(3,500筆弱)を集めました。
ii) まちづくり委員会では困難事例を集約しながら富山市と、県生協連では富山県と自治体交渉を行い、問題解決に向け行政との連携強化を確認しました。
iii) 国道8号線高架化については、「中止を求める会」へ改組し、要請ハガキ運動に取り組みましたが、2010年度の事業予算が付き中止とはなりません。引き続き粘り強く持続的な活動が重要です。
③憲法と平和、人権と地球環境の保護発展
i) 「地域・事業所九条の会」と連携して、バスツアー(20名)や学習会などに取り組みできました。また、辺野古やNPTなどの代表派遣に取り組みました。
ii) チームマイナス6%の取り組みは、昨年比で参加数が減少しています。環境問題学習会など学ぶ活動も大切です。



▲ラブアンドピースフェスティバル

(4) 頼りになる医療生協を作る

- ①300万人対話運動は、7073件(2年間で16681件)の到達となりました。困難解決の貴重な教訓を始め、配付係や運営委員の誕生、行事参加の広がりなど対話運動は地域のきずなを結ぶ重要な方法である事を実感しました。更に多くの具体的な声を集める事が求められています。
i) 高岡と藤の木支部が設立され、奥田支部からは奥田北支部が分割誕生しました。昨年分割した和合支部では、新支部の特徴を活かして組合員に密着した活動が前進しています。
ii) 全国4課題(前年比)
仲間増やし846名(87%)、班会232班1072回(班数85%、回数81%)
増資4,192件5593万円(件数92%、金額63%)、5200万円減資(144%)
*今年度は純増216万円に留まりました。
幅広い件数増を中心とした増資運動が不可欠です。
*班会は、2年間未開催が136班あるなど開催数では若干後退しましたが、59班で年間計画が作成されて、42の新班が誕生、28班で班会・班活動が再開される等貴重な前進もありました。
*既存の支部においても新しい運営委員が30名誕生し、活気ある運営委員会となっています。
iii) 郵送継続論議をきっかけに、機関紙の意義が再認識されて配付体制の強化が進み全体で193人の配付係が誕生しました。
②事業所組織活動の交流と強化
i) 「パディ制」や「職場地域担当制」は、進んだ経験を全体でも共有し、職場の専門性も活かした工夫や支部からの関わり強化が求められています。
ii) ブロック単位の活動が進みました。新型インフルエンザ予防接種に伴う混乱を事業所と支部の協力ですばやく対応できたことは教訓的でした。
③組合員と職員の学び合い
i) 通信教育の修了率が下がっており、支部や理事会活動へのつながりが課題です。
ii) 「医療生協人」については、富山版「これが医療生協だ!コンテスト」など体験を通じて理解を進めました。

2009年度 全国4課題到達

Table with 2 columns: 項目 (Item) and 数値 (Value). Lists statistics for national activities: 仲間ふやし 846名, 出資金 5,593万円, etc.

(5) 富山医療生協の展望の共有

- ①富山医療生協創立第4次中期計画(「2012年富山医療生協の姿」)は未策定でした。
②医療生協の全国連合会の設立に向け、発起人生協に加わりました。



きずなを結んで3つのチャレンジ



大腸がん・乳がん検診の倍加
病院小児科再開・若い世代へのアピール
医療、介護ネットワークのさらなる充実



脳いきいき班会50班
1人暮らしの声かけ運動 たすけっとクラブ
平和の取り組み



1000人の仲間ふやし
8000万円の増資
350班で班会開催



2010年度 主な組合員活動予定 各委員会などで検討の上、変更される事もあります。

月	活動の予定	医療生協行事	◆生協連○医療部会★民医連★その他
3月	09年度方針骨子提案 各支部総代会	組合員のついで(7・日)	いのちの対話大運動「とことん交流集会」
4月	支部運営委員会と班づくり開催月間準備 班の年間計画書の提出を進めよう	ぼぶら5周年行事(4・日) 平和バスター(11・日) 世界保健デーちんどんコンクール(10・土~11・日) NPT「Love&Peace フェスティバル」(25・日) 地区別総代会議(29・祝)	
5月	がん検診・特定健診始まる(15日~) 支部で新班づくりの計画を立てよう	看護の日体験会(10・月~14・金) 「脳いきいき班会」インストラクター養成講座(15・土) 認知症サポーターステップアップ講座 保健講座(22・土)	★9条記念講演会(8・土)
6月	全組で班会を開催しよう 教育学習月間	ヘルパー2級養成講座 第57回通常総代会(20・日) 「いのちの山河」上映会(27・日)	★平和行進(10・木~10・土) ★中村哲講演会(17・木) ★ハンセン病ふるさとネットワークシンポ(18・金) ◆海岸クリーン作戦(27・日) ○日本生協連総会(18・金)
7月	組織委員会・強化月間方針作る 理事会に提案	ぼぶら夏まつり 平和納涼祭(24・土)	◇日本医療福祉生協連設立総会(6・火)
8月	支部長会議強化月間方針提案・協議 運営委員会組織強化月間準備開始	のびのび夏まつり	★富山県母親大会(1・日) ★原水禁世界大会(広島4・水~6・金) ★日本母親大会(福島28・土~29・日)
9月	虹の出会い月間スタート スタート集会(25・土)	通信教育10年度開講式(4・土) グラウンドゴルフ大会(16・木) ブロック別ウォークイベント(26前後)	★日本高齢者大会(茨城13・月~14・火)
10月		富山診療所60周年記念行事(3・日) 水橋健康まつり(17・日予定)	◇全国グラウンドゴルフ大会
11月			☆富山民医連学術運動交流集会(14・日)
12月			
1月			
2月		通信教育合同スクーリング(5・土) 虹のバレンタイン行動 くらしの学校	◇これが医療生協だコンテスト
3月	しめくり月間	組合員のついで(6・日)	

第57回通常総代会第2号(イ) 2010年度の 活動のすすめ方

地域のきずなを結んで、健やかに安心して暮らせるまちづくりをめざしましょう

私たちは今、政治のあり方が大きく変わる可能性のある「過渡期」と言われる時代を迎えています。医療生協の魅力と特徴を大いに発揮しながら、「協同の力」でいのちとくらしを守る事業と運動を豊かに発展させましょう。対話活動を大きく広げながら、健やかに生まれ、育ち、安心して老いていくことのできるまちづくりを進めます。

(1) 自治・参加・協同の力を活かし、事業の質を向上させる課題

- 「患者の権利章典」「医療生協の介護」を実践します。
 - 自治・参加・協同を促進するため、職場や利用委員会・倫理委員会など幅広く「患者の権利章典/医療生協の介護」の実践の検証を行います。
 - 「これが医療生協だ！コンテスト」の成果を職場・支部に浸透させます。
 - ライフデザインノートは、まず職員が理解を深めて活用し、幅広く普及します。
 - 模擬患者会の協力を得て、利用者の満足度向上と職員の接客改善に努めます。
 - 「WHO高齢者にやさしい基準づくり」に基づく診療所活動とまちづくりに取り組みます。
- 医師、看護師等の職員紹介や新入職員招待班会など、後継者の確保と育成に協同で取り組みます。
- 事業所利用委員会は、事業の質や利用者満足度の向上とともに、患者の権利を支援する機能の強化をはかります。
- 法令遵守を徹底し、職場管理能力の向上をめざします。



▲デイサービス見学(えがお)

(2) 医療生協の特徴を活かした事業と運動を発展させる課題

- 医療・介護・保健予防の総合的なサービスを強化し、家族ぐるみの利用促進と収益の増加をめざします。
 - 病院では、11月から待望の小児科を再開します。また予防接種やアレルギー疾患への対応、病(後)児保育の検討や子育てサークルなどの育児支援を、地域の組合員とともに進めます。慢性疾患医療やリハビリ医療の一層の充実とともに、通院による「がん化学療法(抗がん剤治療)」をはじめ予防から緩和ケアまでの「がん診療」拡充します。
 - 診療所では、診療内容の専門性と組合員による助け合い活動までの幅広いネットワークを活かします。
 - 健診事業では、特定健診制度導入前の過去最高水準の利用と収益をめざします。健診事業委員会を設け、組合員活動との連携を強化し、事業所利用を促進します。
 - 介護事業では、高まる介護要求に応える為に、医療介護の連携を強めるとともに、サービス提供のあり方の検討と工夫を行います。「やくしの里」の毎日稼働をめざします。事業所宣伝の強化と、組合員による事業所ボランティアの活動を大きく広げます。
- 事業所連携とともに、組合員の医療介護生活支援や相談と社会的資源の活用にもむけた情報発信など地域連携の機能を強化します。
- 各支部の担当者を中心に、たすけっとクラブの活動と支部活動との連携を強化します。また、送迎の事業化を検討します。
- ホームページや機関誌紙の増頁や配布率向上など広報活動を強化します。

(3) 明るいまちづくりを進め、健康で平和な社会をつくる課題

- 地域まるごと健康づくりや班会で、イ) 認知症にやさしいまちづくり、ロ) 社会的孤立をなくし、ハ) 寝たきりにならない健康づくりを進めます。
 - 「組合員から手遅れのがんをなくす」を合言葉に、健診活動を支部班活動の柱に位置づけて取り組みます。
 - 自治体の後援も受けながら、誰でも日常的に手軽に取り組める「健康づくりチャレンジャー」を推進します。
 - インストラクターを養成しながら「脳いきいき連続班会」に取り組みます。
 - 子育て教室や病院探検など、小児医療とも連携しながら子育て支援の活動を広げます。
 - 組合員参加型の多彩な文化スポーツ行事を推進します。
 - 地域の介護力と保健力の向上にむけて認知症サポーター養成やAED学習会を進め、あわせてサポーターや保健係などのフォロー講座を開催します。
 - 自治体や県生協連、JAや社協などと共同で地域の健康づくりを進めます。行政での特定健診の中間評価に向け、医療生協からも検証と提案を行います。
- 社会保障の充実を求める運動を拡げます。
 - 後期高齢者医療制度の即時廃止と介護保険制度の改善に取り組みます。
 - 自治体の生活支援制度の活用や無料低額診療制度導入など社会的経済的に困難な方への支援活動を進めます。
 - 国道8号線高架化事業の停止にむけ「中止を求める会」と共に宣伝と対応を強化します。
- 憲法と平和、人権と地球環境の保護に取り組みます。
 - 「医療生協9条の会」と協力して、地域や事業所での平和憲法を守る活動を進めます。
 - NPT代表派遣を成功させ、幅広い世代の平和活動を持続的に展開します。「平和納涼まつり」を事業所・支部・住民とともに開催します。
 - 「コープみんなでエコ2010」を全支部・事業所と家族ぐるみで取り組みます。



▲脳いきいき班会インストラクター養成講座

(4) 頼りになる医療生協を作る課題

- 対話運動を通じて地域の声を集め、問題解決をめざす「いのちの大運動」を大きく進めます。
 - 組合員の要求とまちづくりのため、空白地域での支部づくりや、支部分割を進めます。
 - 「班づくり・班会開催月間(5~7月)」に取り組み新班づくりを重視します。
 - ブロックごとの課題を共有し、活動を強化します。医療生協開設50周年プレ企画(診療所開設60周年)をブロック・法人あげて成功させます。
 - 楽しくて、ためになり、頼りになる活動を進めながら、全国4課題の目標を達成します。
 - 診療圏内の組合員加入比率50%と、事業所における組合員利用率100%をめざします。介護事業所での利用状況を的確に把握します。
 - 機関紙活動の位置づけを強化し、支部内100%の配付コースづくりをめざします。また、配付活動を組合員による見守りネットワークとしても活用します。
- 事業所の組織活動を強化し、「バディ制/職場地域担当制」の発展をめざし検討します。支部と事業所の双方向の関わりを重視します。
- 組合員と職員の学び合いを重視します。
 - 「利用委員会」「医療福祉生協連」などの新コースをはじめ、通信教育の300人受講を重視します。
 - 「医療生協人」の育成と職場教育力のレベルアップを図ります。
 - 職員と組合員による学術と運動の成果を持ち寄り、「富山民医連学術運動交流集会」に取り組み、協同の取り組みを共有します。
- 法人方針の共有や具体化、点検のために理事会での協議を重視します。

2010年度 全国4課題目標

仲間ふやし	1,000名
出資金	8,000万円
増資実人数	5,000名
班会	1,500回
配布コース	200コース
新班づくり	100班
協力者	500名

(5) 富山医療生協の展望を共有する課題

- 2012年富山医療生協創立50周年企画の準備を始めます。
- 「日本医療福祉生活協同組合連合会(医療福祉生協連)」へ加盟します。



貸借対照表

2010年3月31日 現在 (単位:円)

資産の部		負債及び資本の部	
I. 流動資産	849,146,107	IV. 流動負債	427,842,505
現金・預金	266,744,384	短期借入金	100,000,000
医療未収金	550,656,432	長期借入1年内償還	168,936,000
貸倒引当金△	3,830,000	短期リース債務	8,494,250
棚卸資産	11,081,025	買掛金	89,713,244
仮払金	5,643,208	未払費用	1,284,454
未収金	4,508,607	預り金	15,770,793
前払費用	14,314,416	出資預り金	4,043,620
立替金	28,035	賞与引当金	0
仮払消費税	0	未払消費税	1,832,100
II. 固定資産	2,260,885,163	未払法人税等	20,488,087
(1)有形固定資産	2,094,256,652	未払い金	17,279,957
1. 建物	2,008,006,453	V. 固定負債	1,554,966,813
減価償却累計額△	914,049,199	長期借入金	940,940,606
2. 建物付属設備	1,550,651,647	組合債	143,920,000
減価償却累計額△	1,215,069,775	組合債預り金	0
3. 建物造作	0	退職給与引当金	465,665,567
減価償却累計額△	0	リース負債	4,440,640
4. 構築物	184,819,665	負債合計	1,982,809,318
減価償却累計額△	140,069,640		
5. 医療機械	671,524,570	VI. 出資金	796,778,000
減価償却累計額△	600,818,439	組合員出資金	796,778,000
6. 車両運搬具	0		
減価償却累計額△	0	VII. 剰余金	330,443,952
7. 器具備品	307,736,700	(1)法定積立金	44,700,000
減価償却累計額△	276,817,916	法定準備金	44,700,000
8. 土地	505,407,696	(2)医療福祉等積立金	147,000,000
9. リース資産	12,934,890	医療福祉等積立金	147,000,000
10. 建設仮勘定	0	(3)任意積立金	62,000,000
(2)無形固定資産	28,062,837	別途積立金	0
電話加入権	0	退職給与積立金	25,000,000
借地権	9,710,428	生協会館建設準備金	37,000,000
水道加入権等	1,495,641	(4)当期末処分剰余金	76,743,952
パソコンソフト	5,166,220	前期繰越損益	952,043
長期前払消費税	11,690,548	当期剰余金	75,791,909
(3)その他固定資産	138,565,674	資本合計	1,127,221,952
関係団体出資金	4,045,000		
敷金	11,107,919	負債及び資本合計	3,110,031,270
差入保証金	37,000		
奨学金	16,428,000		
保険積立金	106,947,755		
資産合計	3,110,031,270		

監査報告書

私たち監事は、2009年4月1日から2010年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、日本生協連の定めた生協監事監査基準に準拠して、他の監事と意思疎通・情報の交換を図るほか、監査方針等に従い、理事・職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めました。また、理事会その他重要な会議に出席し、理事・職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。そして、重要な決裁書類等を閲覧し、本部等において業務及び財産の状況を調査いたしました。このような方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿並びにこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案)及びその附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1)事業報告書等の監査結果

①事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。

(2)決算関係書類(剰余金処分案を除く)及び附属明細書の監査結果

決算関係書類(剰余金処分案を除く)及び附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3)剰余金処分案の監査結果

剰余金処分案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項はありません。

2010年5月25日 富山医療生活協同組合

監事 藤田 康雄 監事 中田 幸子 監事 古沢 恭子

2009年度決算報告

《損益計算書》

自2009年4月1日

至2010年3月31日

(単位:円)

I. 【事業収入】	3,528,612,753
医療収入	2,521,220,816
外來収入	1,046,047,392
入院収入	1,328,245,392
訪問看護	45,611,265
健診収入	104,779,416
その他自費	231,105
保険査定 △	3,693,754
介護収入	992,388,299
訪問看護	74,954,568
通所介護・リハビリ	517,368,609
訪問介護	114,731,852
訪問リハビリ	10,476,080
短期入所介護	119,398,630
居宅支援	91,689,500
療養指導等	18,666,030
包括支援センター	45,074,565
自費(食費他)	0
保険査定 △	△ 28,465
福祉収入	9,874,732
保育補助金	3,997,090
保育料	4,645,384
その他	1,232,258
福祉付帯事業	5,128,906
II. 【事業費用】	3,377,841,052
医療材料費	361,236,437
(医薬品費)	193,229,586
(治療材料費)	143,906,903
(給食材料費)	24,099,948
一般管理費	3,016,604,615
(人件費)	2,265,142,476
(委託費)	235,647,491
(物件費)	328,208,440
(リース料)	22,201,989
(減価償却費)	165,404,219
【事業剰余】	150,771,701
III. 【事業外収益】	27,863,849
受取利息他	487,557
補助金収入	0
貸倒引当金戻入	3,760,000
雑収入	23,616,292
IV. 【事業外費用】	80,222,356
支払利息	25,312,661
組合債利息	638,032
雑損消費税	44,550,388
長期前払消費税償却額	5,449,491
貸倒引当金繰入	3,830,000
雑損失	441,784
【経常剰余】	98,413,194
V. 【特別利益】	0
VI. 【特別損失】	2,321,285
固定資産除却損	1,305,804
貸倒損失	1,015,481
その他	0
【税引前剰余】	96,091,909
法人税等	20,300,000
【当期剰余金】	75,791,909
繰越剰余金	952,043
【当期末処分剰余金】	76,743,952

《剰余金処分》

(単位:円)

I. 当期末処分剰余金	76,743,952
II. 当期剰余金処分額	
1. 法定準備金	8,000,000
2. 医療福祉等事業積立金	64,800,000
合計	72,800,000
III. 次期繰越剰余金	3,943,952

注 記 1. 次期繰越剰余金は、教育事業等繰越金です。

《2010年度 予算》

自2010年4月1日

至2011年3月31日

(単位:千円)

I. 事業収益	3,612,000
医療事業収益	2,572,600
介護事業収益	1,013,306
福祉事業収益	10,000
福祉付帯事業収益	16,094
II. 事業費用	3,470,000
医療材料費	330,000
一般管理費	3,140,000
事業剰余金	142,000
III. 事業外収益	23,500
IV. 事業外費用	75,500
経常剰余金	90,000
V. 特別利益	0
VI. 特別損失	2,000
税引前剰余金	88,000
法人税等	59,000
当期剰余金	29,000

Love & Peace 平和納涼祭り

日時 **7月24日(土)**
午後5時～7時30分
場所 **在宅福祉総合センター
「ひまわり」駐車場**

☆小雨の場合は開催します 新鮮市場豊田店前

イベント・展示物・出店内容

- 原水禁世界大会壮行会
- 平和のうたごえ
- NPT要請行動参加報告展
- 盆踊り ●パザー
- 健康チェックコーナー(血圧・年齢・体脂肪・血圧)
- 模擬店(そうめん・とろろ・栗豆おこし・野菜即売等)
- こどもコーナー(くじ・水ヨーヨー等)



主催 平和納涼まつり実行委員会 ☎(076)441-8351

「核兵器のない世界をめざそう」

2010年国民平和行進から原水禁世界大会へ



▲6月12日(土)、滑川から水橋へむかう参加者ら

六月十日朝日町をスタートし、十九日に小矢部市天田峠で石川県への引き継ぎ集会が行われました。富山医療生協から約二百名の組合員・職員が参加し、平和と核兵器をなくそうと地域の人に呼びかけながら募金、署名活動も行いました。富山・広島コース通し行進者の渡邊正郎さんの「広島まで元気よく歩きます」と力づよいあいさつがありました。背中にはお手製ののぼりが二本ありました。原水禁世界大会にむけ平和をアピールしていきます。

なんでも 生活相談

*事前にご連絡下さい。

- 富山協立病院
随時受付しています
お申込：富山協立病院
地域連携室
☎076-444-5708
- 富山診療所
毎月25日(休日等の場合は変更になります)
☎076-420-0367

生協に期待しています。医師の力を載せています。医師の力を載せています。医師の力を載せています。

「虹のまち」毎回来しみにしています。特にクロスワードパズルが好きで頭をフル回転して解いています。

富山協立病院で漢方外来に通院しています。夜7時までの診察時間に助けられています。病院も先生も大変です。病院長先生も大変です。病院長先生も大変です。

「創作せうり作っています」富山水橋和町 石坂 久枝さん。紙バンドでミニせうりを作っています。自分で考えたオリジナル作品です。指先を使うのでポケ防止に良いかなあと考えています。

富山協立病院で漢方外来に通院しています。夜7時までの診察時間に助けられています。病院も先生も大変です。病院長先生も大変です。

富山協立病院で漢方外来に通院しています。夜7時までの診察時間に助けられています。病院も先生も大変です。病院長先生も大変です。



特定健診・がん検診・組合員健康診断キャンペーン

健康診断を受診する際に下記のカードを窓口でお出しいただき、ささやかな品をプレゼントさせていただきます。
※組合員のみが対象となります。

富山医療生協 組合員健康診断 紹介カード

健診を受けられる時に窓口にお出し

◆お名前 _____

◆ご住所 _____

◆電話番号 _____

◆紹介者 お名前 _____ 支部名 _____

※事前にご予約をお願いいたします。
また、受診される時は受診券、保険証、組合員証をお持ちください。
※お問い合わせ・ご予約は → 富山協立病院：健康支援センター076(444)5684
富山診療所 076(420)0367 水橋診療所 076(479)1414 まで

無料法律相談のご案内

武島直子弁護士 (富山中央法律事務所)

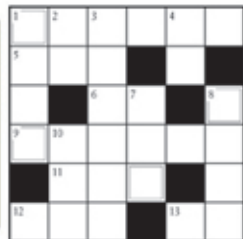
- 7月16日(金) 時間は午後2時～4時
- 8月20日(金) 予約してください
- 9月17日(金) 予約してください

場所 富山協立病院地域連携室
☎お申込・地域連携室 ☎076-444-5708

グラウンドゴルフ練習会のご案内

今年の第4回大会は、9月16日(休)に富山市城東公園(予定)で開催します。大会に向けた練習会の日程・会場をご案内します。(雨天中止)
☆練習日程 月の第4木曜日・午前9時半～11時
7月22日/8月26日/10月28日
☆会場 富山市稲荷公園 ☆参加費 100円
☆問い合わせ先 組織部 ☎076-441-8351

転居先を必ず連絡して下さい。
住所・電話番号の変更や家族の変更がありましたら、生協までご連絡下さい。



- ★よこのカギ★
- ①金太郎で有名な山
- ②ジェット用のハガキ
- ③お年寄りに〇〇を譲る
- ④ハイハイしていた孫が最近一をするようになった
- ⑤深夜
- ⑥着陸の対
- ⑦〇〇の横歩き

- ⑧川端康成の有名な小説の題名
- ⑨風の――に聞く
- ⑩逆は必ずしも〇〇ならず
- ⑪真新しい――姿の新入生
- ⑫〇〇のやんばち
- ⑬喪に服する期間が終ると
- ⑭川端康成の有名な小説の題名
- ⑮風の――に聞く

【五月号の当選者5名】
滝沢 弘雄 (滑川市大榎)
城能 朋子 (富山市豊若町)
田島 千里 (砺波市太田)
桑名 兼二 (富山市弥生町)
池田 朋子 (富山市豊田町)

【五月号の解答】
印有効
【賞品】 正解者の中から五名の方に千円分の図書カードを贈呈
【しめきり】 七月末日の消
【富山医療生協】

【応募方法】 パズルの解答住所・氏名・年齢と、虹のまちの紙面や医療生協へのご意見・ご要望などがありましたら併せて明記の上ハガキ、又は富山医療生協ホームページ(面右上に記載)の「お問合せ」メールにてご応募下さい。
尚、虹のまちに掲載させていただきます。了承下さい。
【あて先】〒931-1850 富山県富田町一丁目八番 富山医療生協

